



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

オマーン：カーブース国王の健康状態

8月18日、オマーンの宮内省 (Diwan of Royal Court) は、ドイツで健康診断を受けているカーブース国王の健康状態は良好である旨の声明を発出した。カーブース国王は7月9日から休暇と健康診断のためにドイツを訪問するとの声明が発出されて以来、具体的な動静が報じられていなかった。8月18日の声明では、カーブース国王は健康であり、特別な医療プログラムに従って今後も健康診断を継続するとした。また、同国王はドイツの私邸において国内の様々な事項をフォローし、指示を出していることを明らかにした。

評価

今回のカーブース国王のドイツ滞在が、これまでの休暇と大きく異なるのは、①ラマダーン中に出国し、イードの時期においても帰国しなかったこと、②出国の様子が報じられず、周辺国に立ち寄った様子もないこと、にある。このことから、ドイツ訪問の目的は単なる健康診断ではなく、何らかの治療のためではないかと噂され、カーブース国王の健康状態を不安視する声が国民から上がっていた。8月18日の宮内省の声明は、そのような不安を沈静化するためのものと見られるが、具体的な情報は含まれておらず、国王の健康状態について確たる判断を下すには不十分である。もっとも、国王自身が海外滞在中の動静について報じられることを嫌うことから、意図的に情報を遮断している可能性もあり、真偽の程は不明である。

オマーンでは後継者となる皇太子を定めておく制度が存在していない。次期国王の選出については、国王没後に招集される王族評議会にて選出されることになっているが、王族評議会で合意に至らなかった場合は、国王が残す後継者の指名書を開封することになっている。これらの権力の移譲プロセスにおける不確定性もさることながら、国内権力を一手に握るカーブース国王に万一のことがある場合、オマーン政治において深刻な力の真空が生まれることが懸念されている。

(村上研究員)

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799